



# **CHILD-LENS INVESTING FRAMEWORK**

## **United Nations Children's Fund**

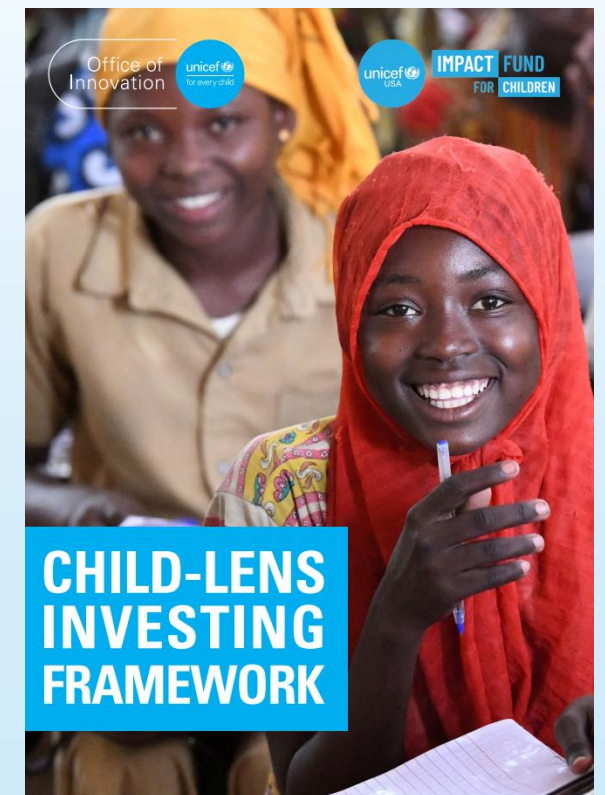
**チャイルド・レンズ投資の枠組み**  
**国連児童基金**  
**2023**

宜保友理子 抄訳

# チャイルド・レンズ投資（CLI）とは？

- 投資家が子どもに関連する要素を意図的に考慮し、子どもへの悪影響を最小限に抑えつつ、子どもにポジティブな結果をもたらすことを目指す持続可能な投資手法
- グローバル、多種多様なテーマ、マルチアセットクラスに適用可能
- チャイルド・レンズ投資フレームワーク（CLIF）という明確なフレームワークに基づいている

チャイルド・レンズ投資フレームワーク（CLIF）	
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ビジョン</li><li>・定義</li></ul>
原則	<ul style="list-style-type: none"><li>・危害を加えない</li><li>・子ども全体への包括的アプローチ</li><li>・アイデンティティ</li><li>・社会全体</li></ul>
要素・構成	<ul style="list-style-type: none"><li>・インパクト&amp;ESG戦略</li><li>・プロセス</li><li>・貢献</li></ul>
分類	<ul style="list-style-type: none"><li>・チャイルド・スクリーニング</li><li>・チャイルド・インクルーシブ</li><li>・チャイルド・センタード</li></ul>



# 章立て

## なぜチャイルド・レンズ投資（CLI）なのか

- 投資家が子どもに目を向けるべき理由、CLIの具体的なフレームワークが必要な理由、今それが必要な理由を探ることで、投資家がCLIを採用するケースを提示。

## チャイルド・レンズ投資（CLI）とは何か

- 投資家に枠組みを提供し、主要な責任投資の枠組みや基準との整合性を探り、投資ライフサイクル全体でCLIをどのように実施できるかを説明することで、CLIの「サンドボックスのルール」を提示。

## チャイルド・レンズ投資（CLI）の市場形成

- マーケットにおけるCLI戦略への需要と供給の現状、CLI資金供給面で求められる改善点、そして子どもへのインパクトを最適化するために投資家が公的資本や規制当局とどのように協力できるかを探索。

## チャイルド・レンズ投資（CLI）エコシステム構築に向けて

- 他の責任投資レンズ（ジェンダー、障害者インクルージョン、人種的公平性、気候など）の開発と普及プロセスから学んだ教訓を生かし、官民の多様なアクターの協働によって実現するダイナミックなCLIのエコシステムを構築するためのハイレベルなアプローチを概説。

# CLIの必要性

投資の欠如により、何百万人もの子どもたちが置き去りにされることとなります。そして、社会的にも、成長の停滞、格差の増幅、脆弱性の拡大という点でその代償を支払わざるをえないでしょう。- **キャサリン・ラッセル ユニセフ事務局長**

## 投資家はなぜ子どもを考慮すべきなのか？

未来への投資	子どもは将来の労働者、消費者、市民、意思決定者の代表であり、彼らへの投資は将来の社会発展にとって極めて重要である。
より広範な社会的利益	子どもへの投資は、子どもだけでなく、養育者、地域社会、そして社会全体にも恩恵をもたらし、貧困と不平等の連鎖を断ち切ることに貢献する。イコライザーとしての子ども時代に投資することで、社会的格差を是正し、根深い不平等に対処できることを示す論拠が存在する。
脆弱性と依存	子どもは傷つきやすく、必要なものを他者に依存する時期であり、サポートが不可欠である。
ネグレクトの結果	子どもへの投資を怠れば、結果として社会的に大きなコストがかかる。
リスクと報酬のバランス	子どもへの投資はハイリスクとハイリターンであるものの、社会的には重要性を増している。
子どもの権利重視	ビジネスを通じて子どもの権利を守り、促進することが重要である。
子どものニーズへの投資	子どものニーズに広範囲にわたって対応するためには、投資資金の増額が必要である。
ESGとインパクト投資の融合	CLIによって、環境・社会・ガバナンス（ESG）とインパクト投資のベストプラクティスを統合し、持続可能な投資アプローチを構築することが可能となる。
子どものための包括的アプローチ	安全なシェルター、気候変動に配慮した農業、搾取と虐待から子どもを保護することなどのビジネス基準を含む、子どもの発育環境を確保するための包括的なアプローチが重要である。
持続可能な開発目標（SDGs）との整合性	将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在のニーズを満たすというSDGsの目標に合致している。

# CLIAプローチ

子どもの権利と福祉の保障と発展に向けて、子どもへの資金循環促進に向けた検討が必要である。CLIAアプローチとは、ESG・インパクト投資フレームワークのベストプラクティスに基づいている。

**Table 1:**  
Illustrative CLI approaches

Child need	Select market opportunity	Illustrative CLI approach
Over 800 million young children and adolescents worldwide are unable to attain minimum proficiency levels in reading and mathematics. <sup>12</sup>	The global education technology (EdTech) market is expected to reach \$421 billion by 2032 – with the K-12 market showing the most growth. <sup>13</sup>	Rethink Education is investing early-stage capital in companies that specifically provide EdTech solutions to children who are poor, cognitively or physically different, or are underserved due to other legal or identity-based factors.
At 430 million, the world's largest child population is in India. <sup>14</sup> They are also among the world's poorest children, with 38% identified as lacking access to basic needs. <sup>15</sup>	Approximately 190 million people remain unbanked in India <sup>16</sup> – limiting Indian families' ability to safely save and build wealth, borrow, make payments, and manage risks to meet their children's current needs and resource their futures. Addressing this challenge presents clear opportunity for investors, with India's FinTech market size at \$31 billion as of 2021, the third largest in the world. <sup>17</sup>	Elevor Equity is addressing child poverty in India by investing early growth capital in companies that seek to increase overall household financial resilience through expanded financial access and lower transaction costs.
Globally in 2022, 2.5 billion people lacked safely managed sanitation and 1.5 billion lacked basic sanitation. Over half of these people (762 million) lived in sub-Saharan Africa, over 250 million of whom live in urban areas. <sup>18</sup> Children are particularly affected by the lack of sanitation, with diarrhoeal diseases the second leading cause of death among children under 5 years of age in LMICs. <sup>19</sup>	The majority of funding (61%) for water, sanitation and hygiene interventions comes not from governments, ODA or the private sector, but from households. <sup>20</sup>	The UNICEF Revolving Fund for Sanitation (RFS) funnels capital into financial institutions to offer a revolving, micro-credit fund to poor households and sanitation businesses. The RFS has been rolled out in Ghana, Nigeria and Togo. <sup>21</sup>
Natural disasters resulted in global losses of over \$300 billion in 2022, <sup>22</sup> with only 6% covered by insurance in emerging economies. <sup>23</sup> Children are disproportionately vulnerable to climate disasters with an estimated 80% of children globally affected by at least one extreme climate event annually. <sup>24</sup>	Annual global capital expenditures on decarbonization technologies and renewables are estimated to account for more than \$800 billion by 2030 – presenting insurers the potential to generate \$10 - \$15 billion in insurance premiums from capital expenditures alone. <sup>25</sup>	BlueOrchard and KfW's InsuResilience Investment Private Equity Fund (IPF II) is a blended finance vehicle that seeks to drive affordability and accessibility to climate insurance in official development assistance countries for both low-income households and micro, small, and medium enterprises. With children in these contexts disproportionately bearing the brunt of climate change's impacts, IPF II supports the most vulnerable children in building resilience to the greatest threat facing them.

## Table1 : CLI アプローチ 子どものニーズ-市場機会- CLIAアプローチの例示を一 覧で表示

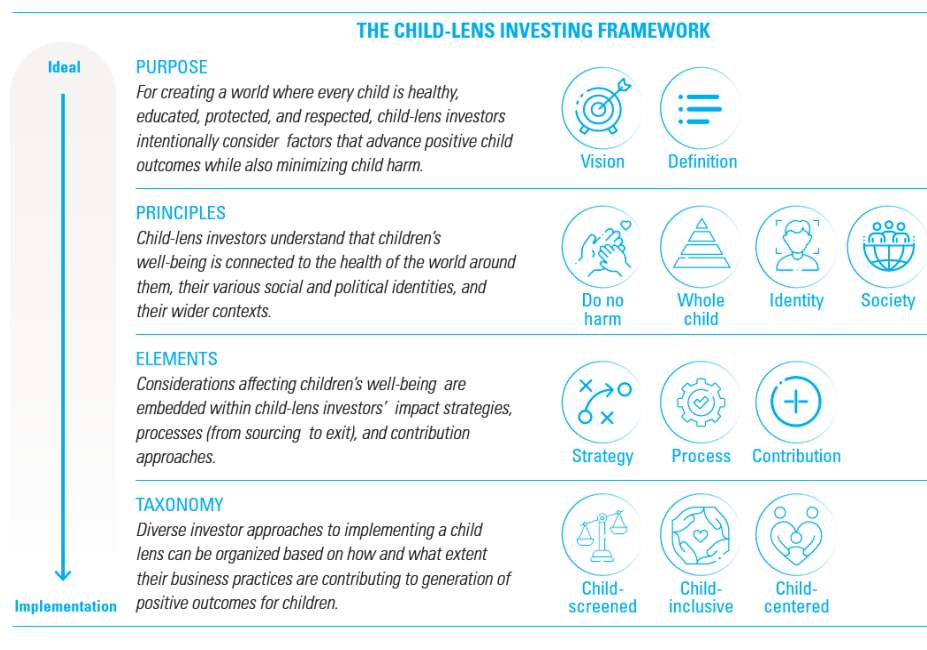


## FIGURE 1: SDGsに おけるチャイルド・レ ンズの投資機会

# CLIとは？

CLIは、社会的責任投資とインパクト投資へのアプローチであり、CLIフレームワークは、パブリックマーケットとプライベートマーケットの両方において、様々なタイプの投資家に適応するよう設計されている。このアプローチは、多様なポートフォリオに適用可能で、幅広い投資戦略に対応可能である。

FIGURE 2:  
Overview of the Child-Lens Investing Framework (CLIF)



## ● 目的

投資家が、「すべての子どもが健康で、教育を受け、保護され、尊重されるというビジョンを持ち」、「意図的に子ども関連要素を考慮」することで、子どもへの悪影響を最小限に抑えつつ、良い結果をもたらすための投資手法である。

## ● 原則

プログラム評価実績のエビデンスに基づき、「危害を加えないこと」「子ども全体へのアプローチ」「アイデンティティ」「社会」の4原則に支えられている。

## ● 要素

**戦略：**インパクト&ESG戦略に基づく。

**プロセス：**社会的責任投資やインパクト投資の基準や原則に基づく、より規則化されたものである。

**貢献：**政府やNGOと共にブレンデッド・ファイナンス・ビークルを設立するなど、投資家としての貢献は多岐にわたる。

## ● 分類（参照：FIGURE6 CLI分類、FIGURE7 CLI分類に基づく事例）

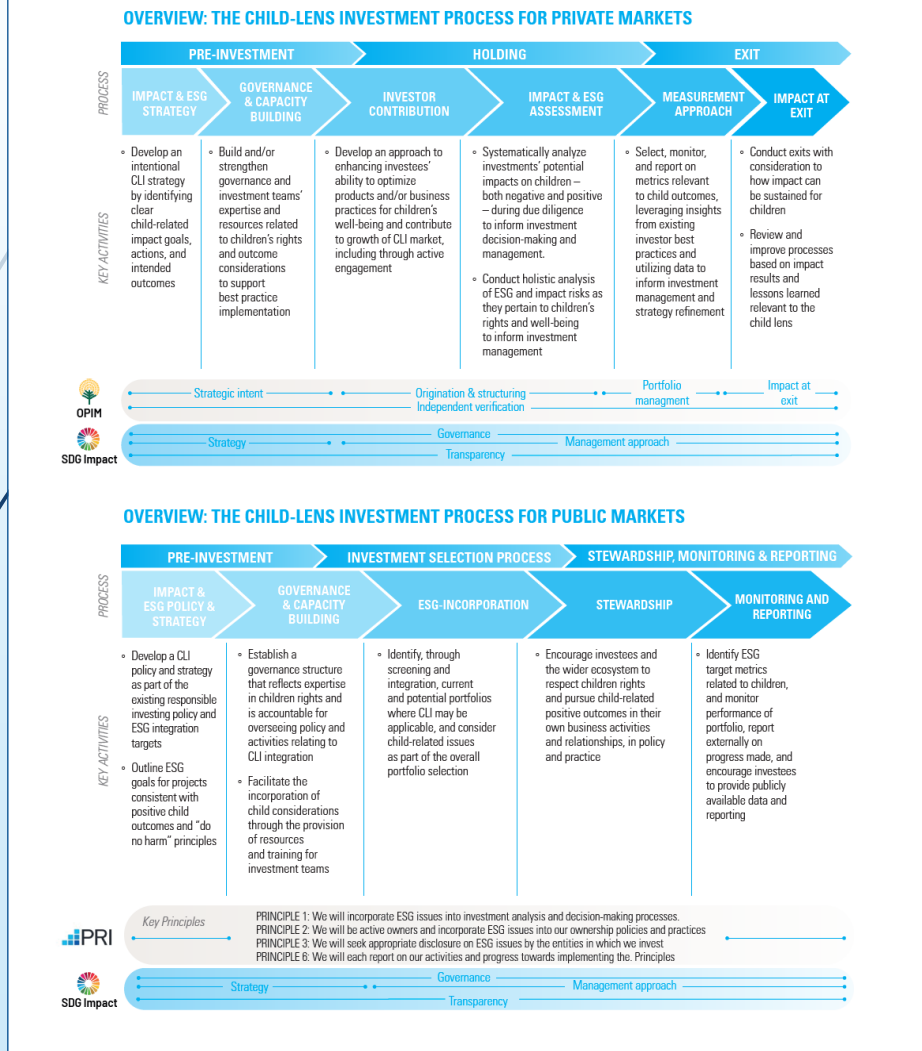
チャイルド・スクリーニング、チャイルド・インクルーシブ、チャイルド・センタードの3つの主要なカテゴリーがある。ネガティブ・スクリーニング・アプローチは、CLIには該当しない。

## ● 既存の枠組みとの連携

既存のフレームワークのベストプラクティスと補完的になるよう設計されている。SDGインパクト基準やインパクト投資運用原則など、多くのフレームワークとの連携が有効である。

# CLIPプロセス

FIGURE 5:  
Some considerations to integrate a child-lens investment process for private and public markets



社会的責任投資やインパクト投資の基準や原則に基づいたプロセスに則る。

- SDGインパクト基準
- インパクト投資運用原則 OPIM
- 責任投資原則 PRI
- 子どもの権利とビジネス原則 CRBP
- 国連グローバル・コンパクト など

# CLIの市場形成

TidelineとKPMGによる調査（2022年10月～2023年8月）の結果、下記の投資家がCLI的投資活動を担っていることが判明した。



## ミッション志向の投資家

財団や国連、NGOが設立したイノベティブ・ファイナンス・イニシアティブ（Save the Children Ventures, UNICEF Ventures）などフィランソロピーの活動家を中心に構成されている。世界で最も弱い立場にある子どもに焦点を当て、通常期待されるよりも低い財務的リターンを受け入れる意思がある。投資規模は、調査サンプルによると、比較的小規模（約10万ドルから100万ドル）である。



## マーケットレート社会的責任投資（SRI）投資家

投資哲学の一環としてSRIを実践しており、子どもの権利を含めた人権を重要視している投資家も含まれる。ESGリスク管理と財務的リターンの両立を主な目標としている。



## テーマ投資家

食、教育、医療などの分野に幅広く投資することで、子どもの幸福と発達に貢献している（Rethink Education、City Light Capital、Triodosなど）。ジェンダー・レンズを持つ投資家も含まれる。注目すべきは、これらの戦略が先進国市場に集中していることである。マーケットレートまたはマーケットレートに近い財務リターンを狙う傾向がある。



## マーケットレートインパクト投資家

このグループのファンドの多くは、現在、気候、保健、金融包摂など、より広範な社会レベルの成果を対象としている投資家（Elevor Equity, Blue Orchard, Amundi）に加え、子どもを中心としたファンド（Save the Children Global Ventures）も登場してきている。



## 特定目的に沿ったコミュニティ・国際開発金融機関

より広範なコミュニティや社会レベルのインパクトを目標としている。このような機関は子どもが成長するために必要な物理的・社会的インフラへの投資を追求している。世界的なDFI（JICA）やコミュニティ開発金融機関（CDFI）が代表的である。コンセッション型、リスク軽減型のブレンデッド・ファイナンスが多い。



# CLI 資金供給面で求められる改善点

調査結果として、改善が必要な事項が判明した。

- 子ども向け投資商品の供給が限られていること
- 投資先の選定や資金配分のプロセスにおいてCLI志向が不足していること

改善に向けては、「投資家サイドへの働きかけ」や「政府による対応」が求められる。

## 投資家サイドへの働きかけ

調査の結果、CLI事例に関する知識不足、斬新な投資アプローチへの懐疑的な見方などにより、CLIに対する需要はニッチであることが判明した。CLIの社会的意義を明示し、財務的リターンも含めた成功事例を作ることが求められる。

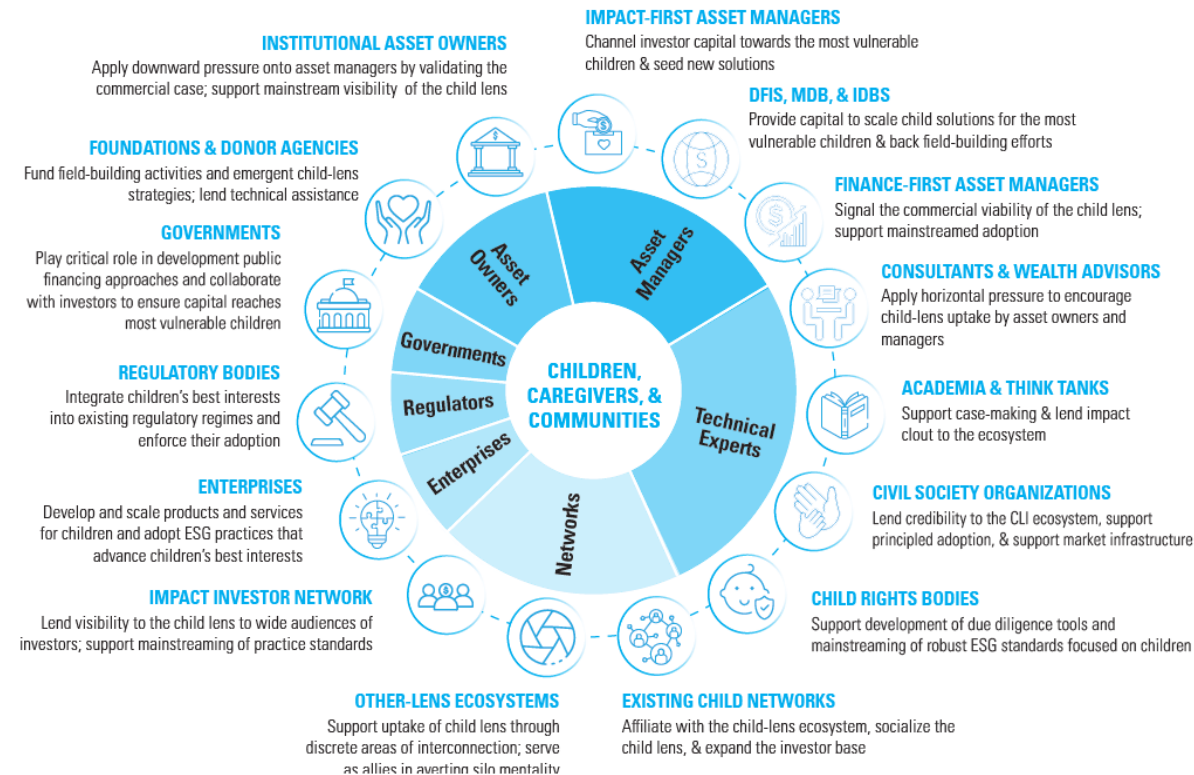
## 政府による対応

政府による積極的な公的資金提供が求められる。さらに、CLIEコシステム構築に向けた政策、規制改革、民間セクターとの連携においても重要な役割を担っている。

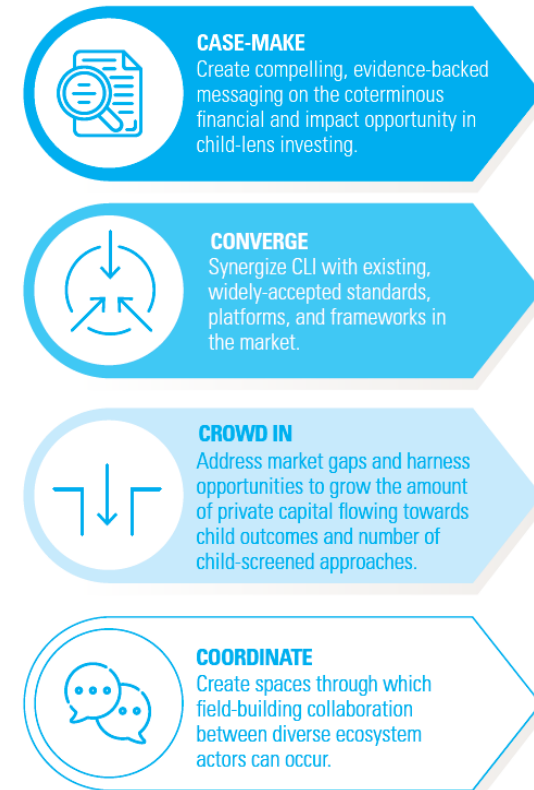
# CLIEコシステム構築に向けて

「4Cアプローチ」と名付けられたこのフレームワークはTidelineとKPMGの調査などから導き出されたものである。

**FIGURE 8 :**  
*Prospective child-lens ecosystem*



**FIGURE 9 :**  
*The 4 C's approach*




# 4Cアプローチを通じた協働

「4Cアプローチ」全てにおいて、多様なステークホルダーによる協働が求められる。




## ケースメイク CLI促進に向けたエ ビデンスベースの開 発プロセス

TABLE 3:  
"Case-make" solutions for a child-lens investing adoption

<b>CHALLENGE</b>	Investors have misperceptions about children's investability, as well as the added value of layering a child lens onto existing investment approaches.
<b>PROPOSED "CASE-MAKE" SOLUTIONS</b>	
	Field builders (with foundations and government agencies as core funders) develop databases of evidence-building marquee statistics and case studies of current and historical strategies, develop strategic messaging on the financial opportunity of CLI, and create operational resources (e.g., case studies) that demonstrate the "how" of CLI.

## クラウドイン 子どものための資金 循環促進とCLI投資 家の増大

TABLE 5:  
Crowd-in" solutions for a child-lens investing adoption

<b>PROBLEM</b>	Insufficient child-lens investment vehicles to channel capital at the scale of needs.
<b>PROPOSED "CROWD IN" SOLUTION</b>	
	Field builders – such as catalytic investors (e.g., impact-first asset managers, DFIs, CDFIs), existing child-lens networks, CSOs, and foundations, governments, and donor agencies – align on and mature a common framework for CLI.
	Asset owners and allocators, regulators, and governments encourage and/or require asset managers, consultants, and wealth advisors to adopt the child lens.
	Investors, consultants, and wealth advisors receive training on how to apply the child lens from CLI and child experts, including but not limited to impact-first asset managers, CSOs, and child rights bodies.






## コンバージ 既存のプラット フォーム・フレーム ワークとの整合

TABLE 4:  
"Converge" solutions for child-lens investing adoption

<b>CHALLENGE</b>	Most existing SRI approaches and regulations in the market have yet to fully account for child rights considerations.
<b>PROPOSED "CONVERGE" SOLUTION</b>	
	Governmental bodies and regulators incorporate child rights standards into existing regulatory regimes to apply downward pressure onto asset managers and to incorporate child-rights into new and existing investment vehicles, including through mandatory compliance mechanisms.
	Field builders measure investor performance against child-rights indicators and benchmarks to disseminate best practices and demonstrate the "double materiality" of a child's rights-based approach.
	Child rights bodies support the creation of child-rights informed ESG tools and service providers to support child-rights integration into existing practice.
	Investors (with emphasis on asset managers, DFIs/FIs/MDBs, and consultants and wealth advisors) in consultation with representatives of other investment lens ecosystems (e.g., gender, disability inclusion, racial equity, and climate) demonstrate the CLIF's interoperability with other investment lenses and approaches, demonstrating its practicality and capacity to deepen investors' impact.

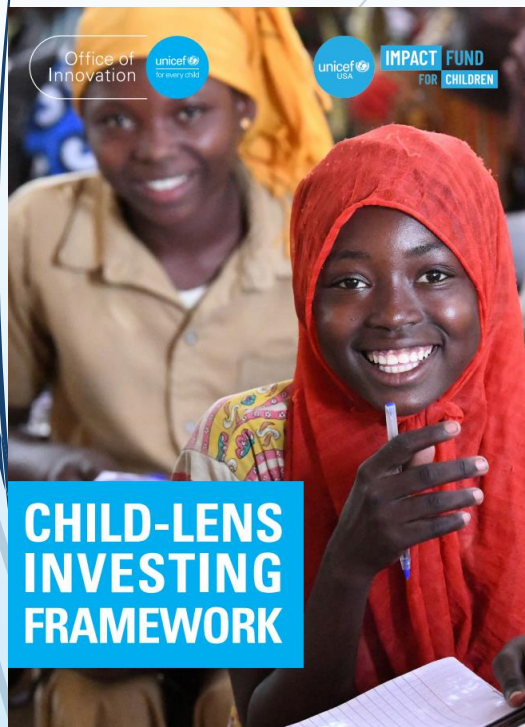
## コーディネート 多様なステークホル ダーの協働を支援

Table 6:  
"Coordinate" solutions for child-lens investing adoption

<b>PROBLEM</b>	Limited market infrastructure (e.g., common framework, core standards, supporting research, peer networks, comparable market data, and impact measurements) exists to support principled, widespread adoption of the child lens.
<b>PROPOSED "COORDINATE" SOLUTION</b>	
	Dedicated field builders – particularly broader impact investor networks, other investment lens' ecosystems, and existing child investor networks – work together to coordinate the development of new CLI field and market.
	Philanthropic investors, government donors, and other catalytic asset owners provide dedicated funding for market infrastructure development.
	Data providers identify key child-lens metrics and establish common, agreed upon child-rights benchmarks.
	Pioneering implementers share lessons learned, best practices, and other resources to support other investors in adopting the child lens.
	Regulators and technical experts develop improved standards for disclosure of businesses' material impacts on children.

# 結論

子どもへの投資は社会的、経済的に重要であり、CLIFはこの目標を達成するための重要な手段である。



## ◆ 子どもへの投資の重要性

子ども時代は、個人の成長と社会全体の繁栄にとって重要な時期であり、子どもに十分な投資を行うことは、貧困の連鎖を断ち切り、より良い社会の実現が可能となる。

## ◆ 歴史的な岐路と現代の課題

SDGsの達成や気候変動対策など、グローバルな規模での重要な分岐点に立たされている今、多くの課題に対処する上で子どもたちへの投資は欠かせない要素である。

## ◆ CLI投資家

投資家は、未来の世代のために大胆にリスクを負うことが求められている。

## ◆ CLIFの目的

このフレームワークは、CLIアプローチが必要とされる理由、多様な投資家向けのガイドライン、および子ども関連戦略の概要を含んでいる。目的は、子どもが健康を維持し、教育を受け、保護され、尊重される社会を実現するために資金循環を促進することである。

しかし、現時点でのフレームワークには限界も見られるため、将来的にはさらなる発展と普及が必要とされている。